

現場訪問

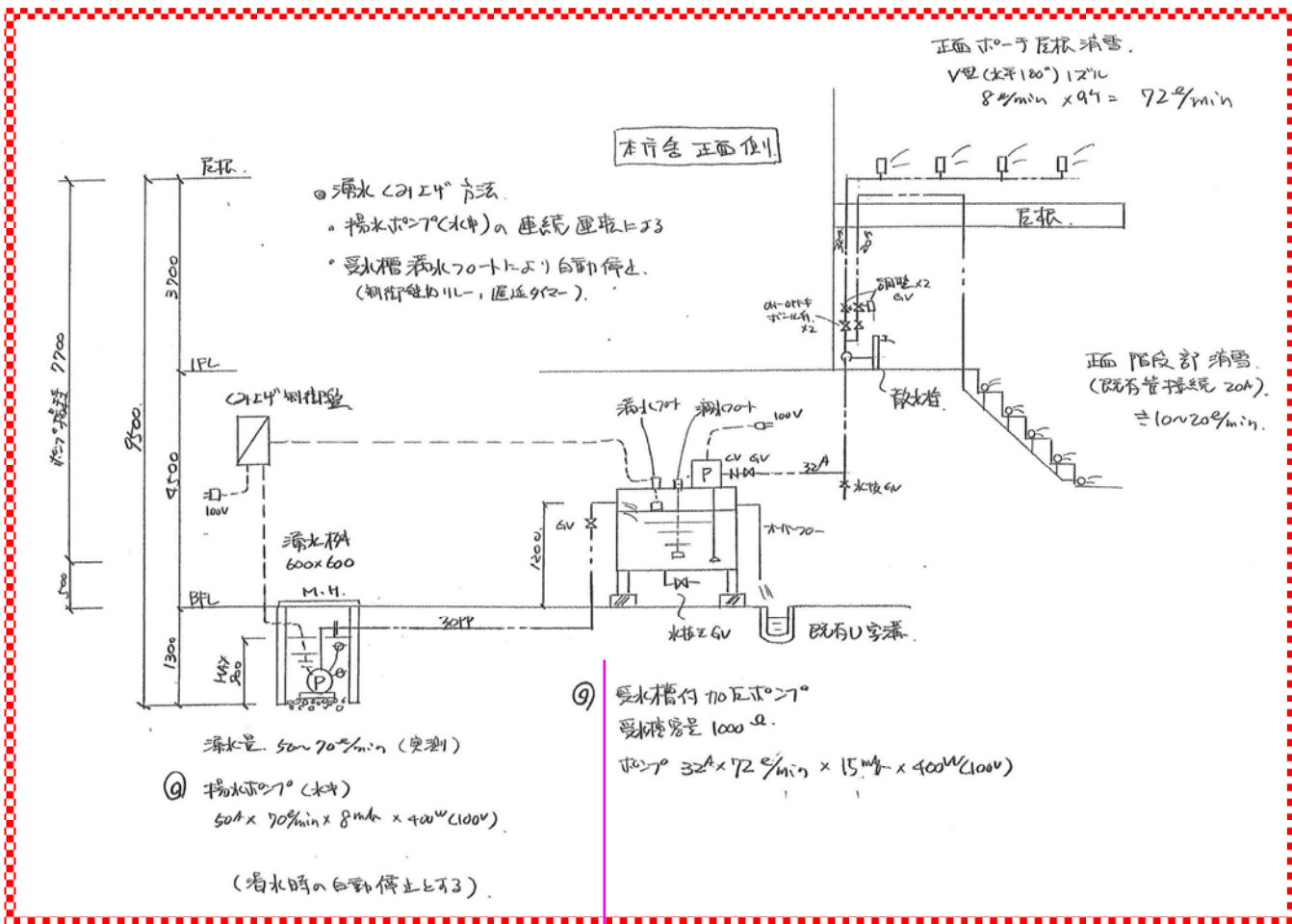
【市役所本庁舎改修及び耐震補強工事】
&
【財第5号本庁舎議場空調設備改修工事】

湧水を利用して、市役所玄関上屋根や階段の消雪設備を行いました。

正面ポーチ屋根消雪



正面入口階段の消雪



上記図面は施工図となつて、工事担当者が消雪設備を行いました。工事担当者を信頼することです。細かすぎる平面図より、流れが分かって、しかも良かったかも...従って、竣工図ではないとのこと。



【市役所本庁舎改修及び耐震補強工事】と【財第5号本庁舎議場空調設備改修工事】の工事の一部、主に議場空調設備と、昨年の工事の車庫棟建設工事での副産物？とも言える（かなあ？）湧水（なんと、湧水なのに、冬でも十二度Cあり、水量は毎分八十リットルということ）を利用して消雪設備の現場を訪問させて頂きました。

まず議場。十日町市と関わって何十年かになるけれど、議場に入ったのは、改装前にダクト吹出し口・吸込み口の風量測定のお手伝いに行った時が初めてで、今回で二回目、改装後の現場訪問となりました。市役所には立派な議場があるのですね。知らなかったことがちよつと恥ずかしいかな...

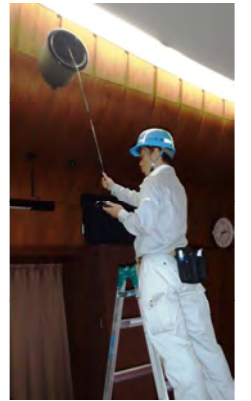
その議場で快適に討論・議論が出来るように遠田現場代理人及び工事に携わった方々が、空調設備の改修を行いました。

この議場に取り付けられているレジスターノズルは、風向きを自在に変えられ、到達距離が長く、処理風量も多く取れる為、ホールや体育館等、広い空間の空調ダクト設備に採用されるそうです。

こうして文章にすると、簡単に快適空間を作ってくれそうですが、議場の壁に取り付けられた吹出し口・吸込み口の風量測定・調査をして、尚且つ議場内のエリアごとでも風量測定・調査をして、平均した快適な空調設備を志し、調整する作業は、細かくて根気のいる仕事だと思えました。



吸込み口の測定



旧・吹出し口の測定



エリアごとの測定



当初の機器の枠と現在機器の大きさの差が見取れます。

私から見れば、大きな室内機なのですが、最初の頃の機器のスペースが残っていて、それから見れば随分コンパクトになっているようです。



搬入据付



大空間の空調機器はいずれも大きなものですが、三階ベランダの室外機等、定められた機器の設置場所に搬入据付ける作業も、色々考慮して、うまく納めることが出来たようです。



耐震化工事による室外機再取付



ドレン配管

外壁への耐震ブレス取付に伴い、エアコン室外機の取り外し・再取付が行われましたが、霜取り排水を自然放流すると、耐震化工事によって出来た溝に水溜りが出来る為、ドレン配管を1台ごとのルートを考えて施工したそうです。

最後に遠田現場代理人に苦労話や、エピソードは？と伺うと...

『苦労話ということではないけれど。工事は主に土曜・日曜日しか出来ない所ばかりだったので、平日は工事現場に三〜四人位しかいない職人さんが、土曜・日曜日になると、複数の業者が、四十〜五十人位集まって工事を行うような現場でした。しかも、土曜・日曜日の作業は、いつも同じメンバーが集まって工事している状態で、「お前ら、いつ休んでらんだ？」が挨拶のようになっていました。』との返事。

実際、限られた日や時間帯に【この作業をしておかなければならない。終えなければならぬ】という現場は、思った以上に苦労の多い仕事なのでしようね。

本当にお疲れ様でした。